成長は感謝の中から

（「見学旅行」特集）

進路通信　題字:山口那々実
業学一体
for all(123)

２年生は明日から**見学旅行**です。１年生は水曜から**インターンシップ**ですね
どちらも個人の活動ではなく、**集団研修**です。
どちらも、一番大切にしなくてはならないのは...

関わった人に**「感謝する気持ちを忘れない」**ことです。
（※紙面の関係上、見学旅行に特化しましたが、インターンシップでも共通なことだと捉えましょう）

1 行かせてくれた〝家族〟に対して ⇒ 父さん母さん、じっちゃんばっちゃん、兄弟姉妹..
2 旅行を共にする〝仲間〟に対して ⇒ 班員、クラス、部活の仲間＋担任、主任..
3 支えてくれる〝関係者〟に対して ⇒ 旅行会社、ガイドさん、旅館の方々、看護師さん..
4 続き残る〝新旧の文化〟に対して⇒ 文化的史跡から最新の文化施設まで(を維持してる、してきた方)
5 安全に見聞できる〝平和〟と〝豊かさ〟に対して ⇒ (How do you think ?)

＝今回の旅行に関わってくれている人の"顔"、少しでも多く思い浮かべてごらん＝
そうすれば自然に..

！顔の見える相手にきちんと感謝できると、人は謙虚になれる。謙虚さは必ず振る舞いに現れる！

（"自分以外のため"に事を起こしたことがない者は、感謝も出来ず謙虚になれない
他者を支える者の苦労や優しさは、自分がその立場になって初めて実感出来る）

"感謝"が本当に心の中にあれば..誰に言われることもなく..
⇒班員への〝思いやり〟、クラスへの〝気づかい〟、自然にわき起こってきますよね？
⇒旅行団での〝やくそくごと〟、公共の場での〝マナー〟、あたり前と思えますよね！？
⇒感謝のカタチとしてのいい〝思い出とおみやげ〟、必ず持って帰れますよね？？
旅行をとおし、少しでも**心を成長**させることが一番のおみやげです。

「感謝」できる自分であることはもちろん、他者の**「気配り」**に対し応えること、それは..

今回の旅行で..
「他者に対して謙虚に気配りの出来る人間になる」
「自分のいる集団・条件の中で楽しめる人間になる」
ことですよ。

【大きな伝統の"縦の流れ"】と【広い世間の"横の繋(つな)がり"】の中心に今の貴方(あなた)がいます
（生かされている、活かされている自分、実感して下さい。実感が出来れば〝感謝〟は自然と心の中に）

※過去に見学旅行で経験した事例です。「当たり前」とは何か考えてみよう！

「先生、今からキャンセルききますか？」（妹の見学旅行と被り結局あきらめた）
「先生、うちの子は旅行に行かせません。」（本人は行きたいって泣いたが..）
「先生、見学旅行はいくらかかるんですか？」（入学時から働いて1年半で旅費をためた）
「先生、自主研修は全て歩きます。」（上記の子、班員が全て了解してくれた）
「先生、私飛行機に乗れないんです。」（実は病気で、飛行機だけじゃなく乗り物、宿泊全てNG）
「先生、いけない理由みんなに言わないで...。」（その理由は..紙面には残せません）